## 優秀工事

### ○工事に関する事項

1. 工 事 番 号 4 壱建土第119号

2. 工 事 名 称 市道神ノ前1号線道路改良工事

3. 施 工 場 所 壱岐市郷ノ浦町大浦触

4. 工 期 令和4年 7月25日 ~ 令和5年 1月20日

5. 請 負 契 約 額 19,823,100円

6. 工事成績評定点 81.0点

7. 工 事 概 要 工事延長 L=0.0(135.0) m

道路幅員 W=4.5 (5.5) m

排水構造物工 L=133.0m、防護柵工 L=107.0m

下層路盤工 A=785.0m2

### ○施工業者

1. 商号又は名称 株式会社 吉川建設

2. 代表者名 代表取締役 吉川 治輝

3. 住 所 長崎県壱岐市芦辺町芦辺浦692番地

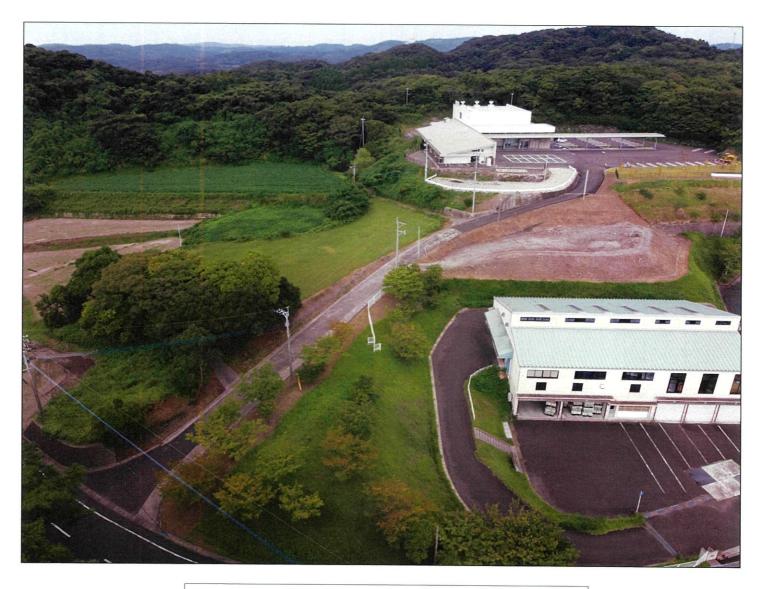
#### ○現場技術者

1. 氏 名 木村 勝治

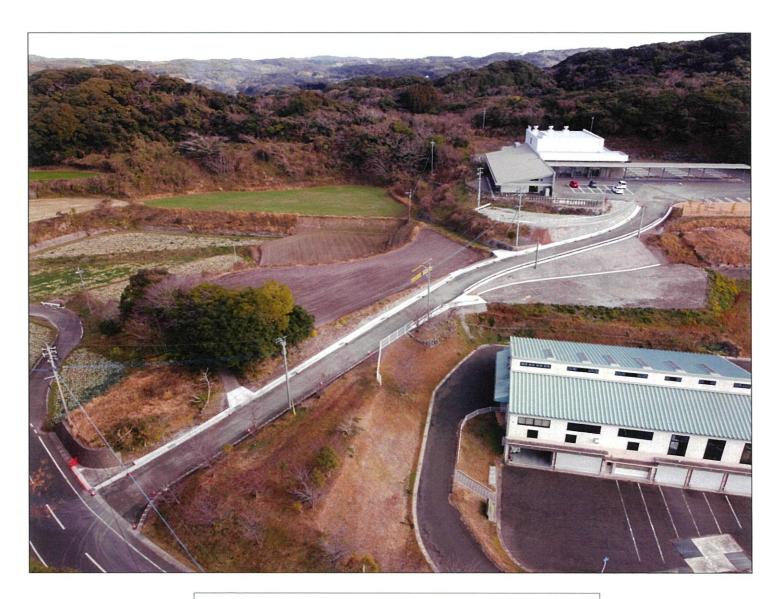
#### ○優秀工事として推薦する理由

本工事は壱岐葬斎場へ繋がる市道の改良工事であるが、既存道路の幅員が狭く、火葬での来場者が多い時間帯については、現道上での作業は困難であり、作業時間が制限される状況であった。このため、葬斎場との調整を密にされ、来場者に支障とならないよう、現場においては細やかな作業内容の変更、工程については、適宜、フォローアップを実施される等、週休2日モデル工事における4週8休を達成しつつ、無苦情、無事故かつ工期の延長も無く、余裕をもって工事を完成された。

また、建設業として後継者不足が課題となっており、働き方改革が求められているが、 本工事において、一人で測量が可能となる測量機械(トータルステーション)の導入や写 真管理等の作業の簡素化、天候に関係なく写真撮影が可能となる電子黒板等の新技術を活 用するなど、少労力化に努め、他工事への見本となるような取り組みが行われていた。



着 工 前 No.0~EP (No.6+15) 全景



竣 工 No.0~EP (No.6+15) 全景



着 工 前 No.0~No.1



竣 工 No.0~No.1



着 工 前 No.1~No.2



竣 工 No.1~No.2



着 工 前 No. 2~No. 3



竣 工 No.2~No.3



着 工 前 No.3~No.4



竣 工 No.3~No.4



着 工 前 No.4~No.5



竣 工 No.4~No.5



着 工 前 No.5~No.6



竣 工 No.5~No.6



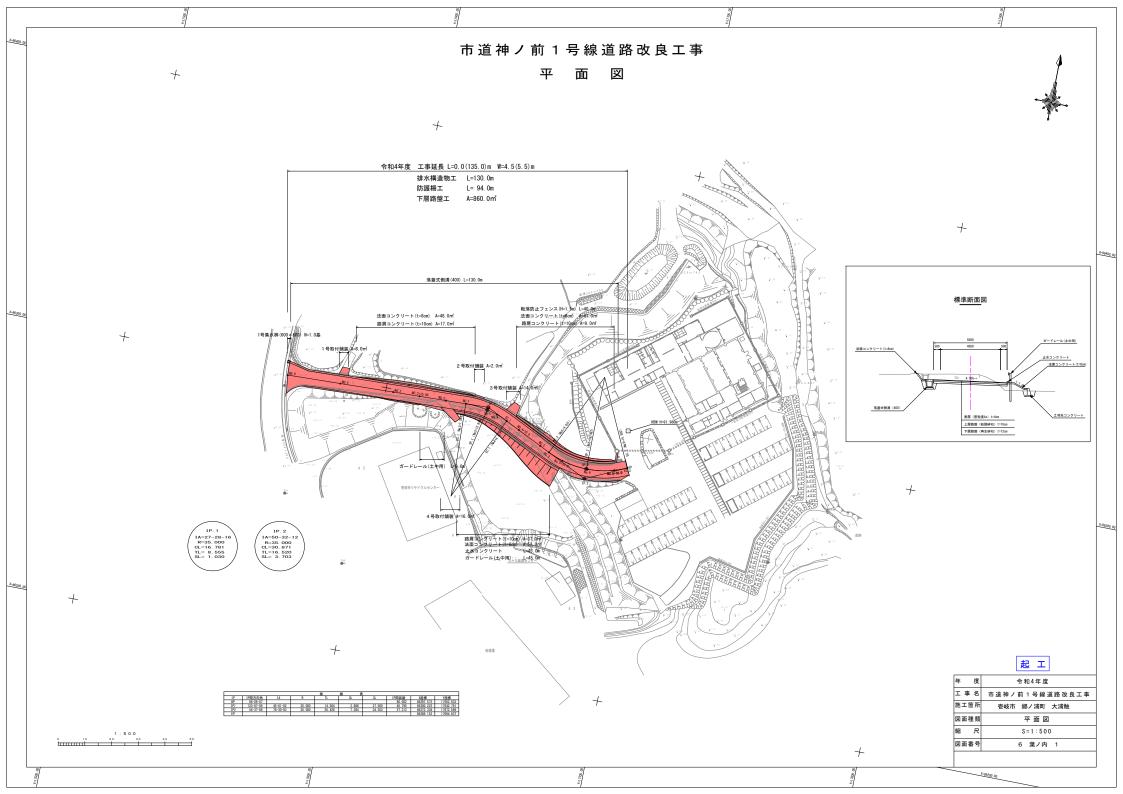
着工前 No.6~EP (No.6+15)

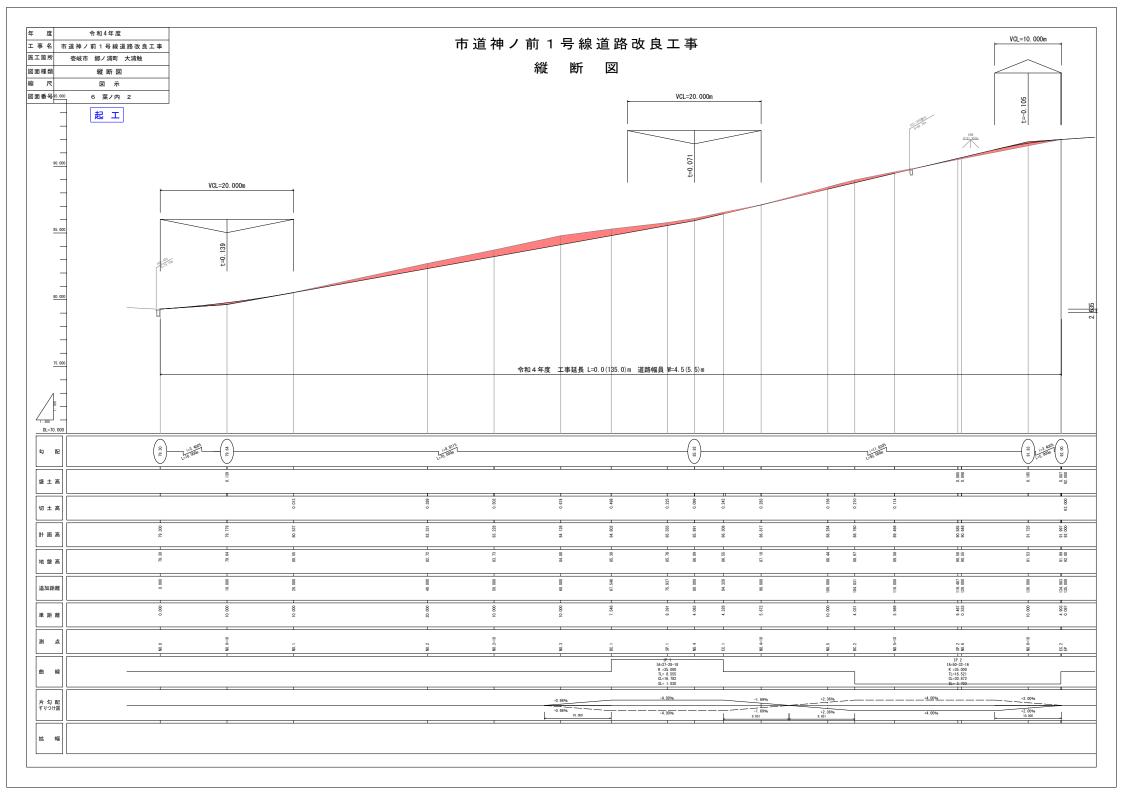


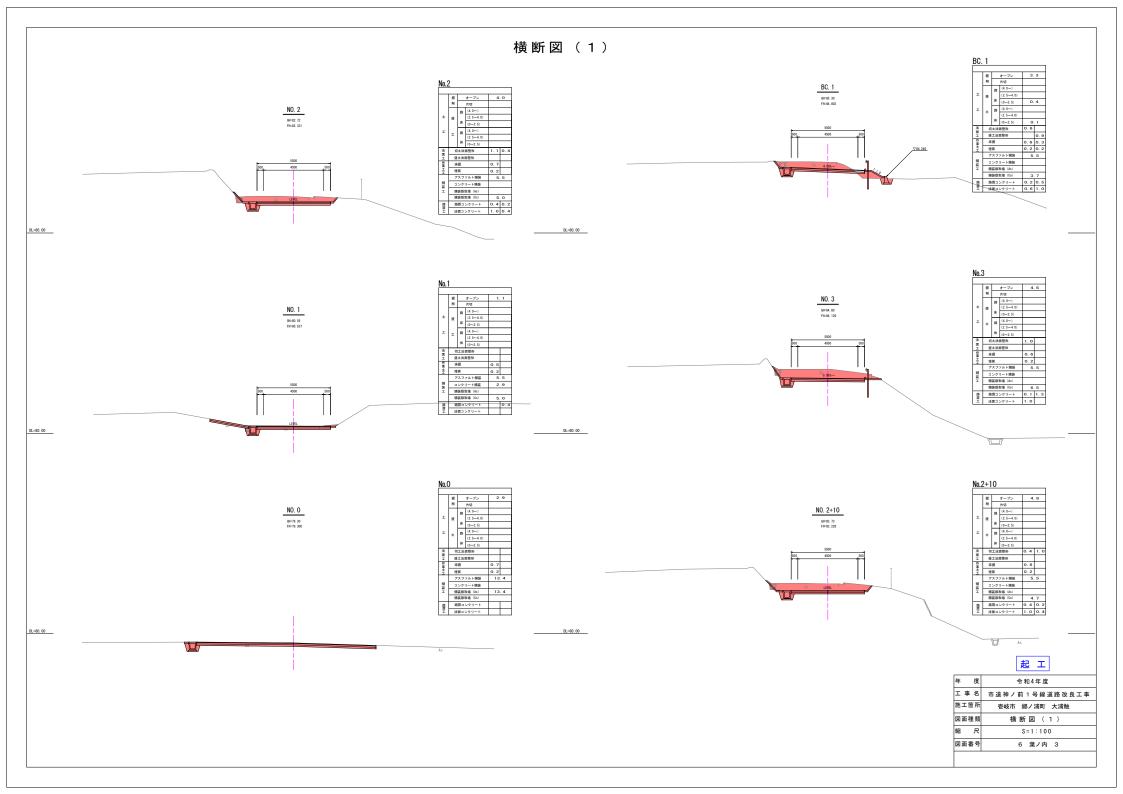
竣 工 No.6~EP (No.6+15)

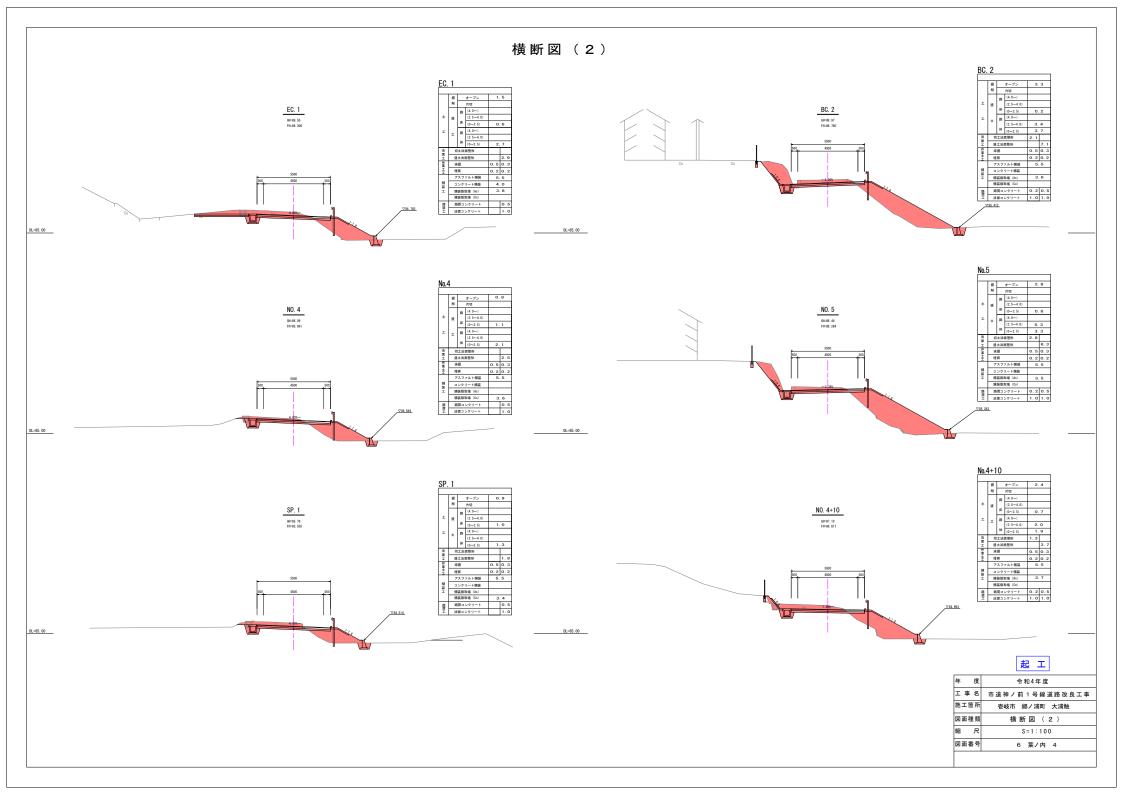


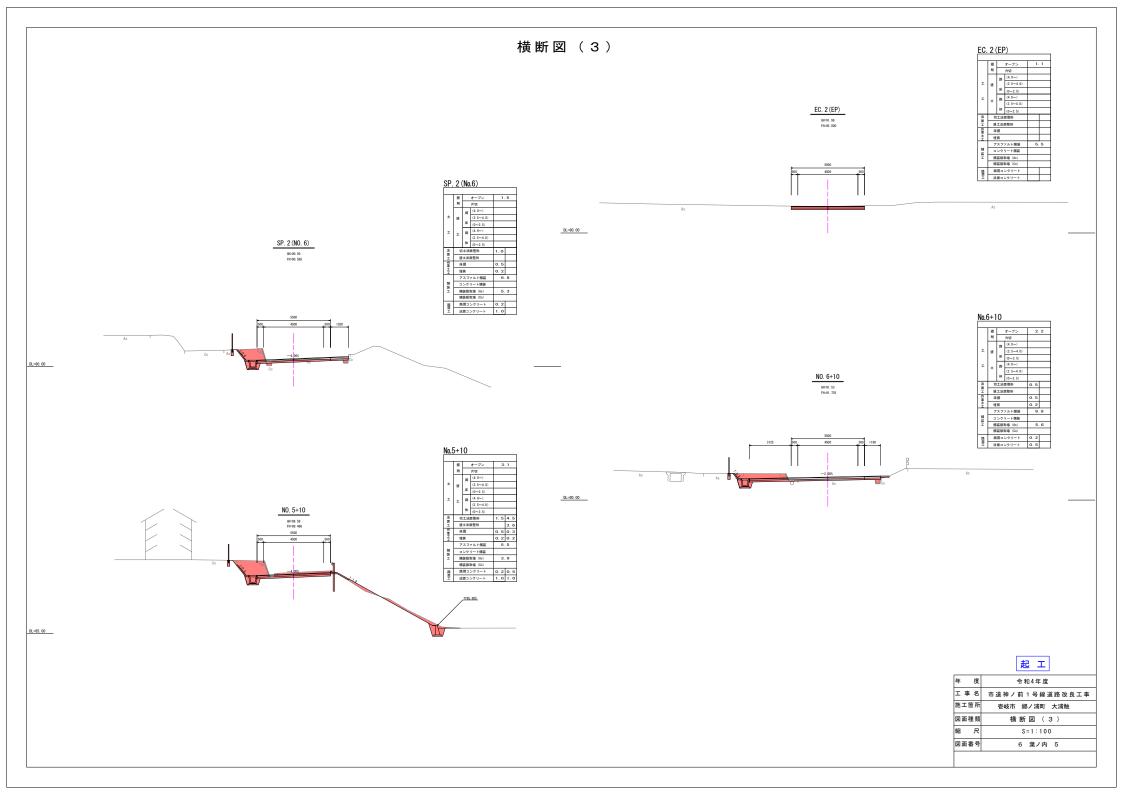
竣 工 No.0~No.1











# 創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	市道神/前1号線道路改良工事				
項目	創意工夫	評価内容	新技術の活用		
提案内容	『小実績優良技術』	績優良技術』を除く『有用とされる技術』の活用			

## (説明)

TSトータルステーションによるワンマン遠隔観測を行いました。

設計平面図に、実際に設置した構造物の座標と標高を随時取込む事により、設計平面図との延長や線形などの比較、確認をしながら出来形の管理を行いました。

また声が届かない交通量がある道路でのワンマン測量はストレス・ロスの無い、測量が出来たと思います。



説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする

## 創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	市道神/前1号線道路改良工事			
項目	創意工夫	評価内容	新技術の活用	
提案内容	『小実績優良技術』を除く『有用とされる技術』の活用			

### (説明)

電子小黒板に対応した、工事写真専用タブレット端末を使用して工事写真の管理を行いました。 黒板の持ち運びが無くなり、黒板を持つ人員の削減(雨等で文字が消える等)の天候に関係無く 撮影が出来、また、黒板をスケルトンにする事で、黒板の後ろの背景も確認出来るようになり ストレスの軽減された工事写真の管理が出来たと思います。

また、工事写真タブレットに図面データを取込み、現地写真や図面を見ながら打合せを行うことで(画面も大きく、拡大等も出来るので)スムーズに打合せ、確認が出来たと思います。 写真管理等の作業コストの軽減にも繋がり「働き方改革」に効果的だったと実感出来ました。



説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする

# 創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名		市道神/前1号線道路改良工事			
項目	創意工夫	評価内容	新技術の活用		
提案内容	『小実績優良技術』を除く『有用とされる技術』の活用				

## (説明)

小型のドローンを使用し現場の空撮を行いました。

上空からの現場状況の管理を行い把握する事で、工事打合せ・新規入場者教育等の時、 現時点の空撮の資料を添付し工事説明等を行い、分かりやすく明確な打合せ等が出来たと 思います。



説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする